

3歳児教育課程(V期～VI期) 広島女学院ゲーンズ幼稚園

月	10	11	11	12
期	V期		VI期	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の差が激しいためか、鼻風邪をひいている子ども、咳をする子が多い。</li> <li>・友達と遊ぶ中でトラブルが起きた時、自分の思いを相手に伝えようとしたり、周りの子ども達が間に入ろうとする姿が見られるようになった。</li> <li>・それぞれの遊びの中で活動的に動き、自分の力を発揮しようとする。</li> <li>・言葉が増え、友達との会話も続くようになった。</li> <li>・一つの遊びを大人数で遊ぶようになってきた。</li> <li>・外で体を動かす遊びを好み、楽しむ姿が見られる。</li> <li>・虫を捕まえ、名前・体のつくりなどに興味を持って観察している。</li> <li>・箱製作などで新しい素材にも興味を持ち、いろいろな物を作って「先生、みてみて。」と言ったり、それを使って遊ぶなど、製作意欲がみられる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達ができ自分の気持ちやイメージを表現することを楽しむようになり、遊びの持続時間も長くなってきた。その反面、自分の思いを通そうとし自己主張や対立が多くなってきた。</li> <li>・落ち葉やどんぐりなどの木の実を集めることを楽しむ。</li> <li>・作品展を経験したことで、製作に興味がなかった子どもたちも製作を楽しむ姿が出てきて活動が盛んになってきた。</li> <li>・遊びこんでいる時などに、トイレをぎりぎりまで我慢して失敗することもある。</li> <li>・自分のはさみを持つ喜びと共に管理もできるようになるが、遊びに夢中になりやらない子どももいる。</li> <li>・園庭でかけっこをしたり、室内で音楽をかけると曲にあわせて体を自由に動かすようになる。</li> </ul>	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達と一緒に遊びを楽しむ。【人間関係・言葉・表現】</li> <li>・秋の自然に触れる。【環境・表現】</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスを楽しみに待ち、みんなで喜ぶ。</li> <li>・友達との関わりの中で喜びや葛藤を味わう</li> </ul>	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気の合う友達と遊ぶ</li> <li>○園バスで空城山公園に遠足に行く <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりや木の実、木の葉を集める</li> <li>・アスレチックをする</li> </ul> </li> <li>○芋掘りをする</li> <li>○ハロウィンを知る <ul style="list-style-type: none"> <li>・変装をする</li> <li>・お面を作る</li> <li>・アメをもらう</li> </ul> </li> <li>○秋の自然に親しむ <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫捕りをする</li> <li>・虫の鳴き声を聞く</li> <li>・秋の実りに触れる</li> <li>・水栽培(ヒヤシンス)をする</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○冬の健康に気をつける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣に関心をもち、自分からやろうとする。</li> </ul> </li> <li>○持ち物の片付けを丁寧にしようとする。</li> <li>○戸外で遊ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で体を動かして遊ぶ(かくれんぼ、鬼ごっこ、かごめかごめ、あぶくたつたなど)</li> </ul> </li> <li>○友達と遊ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の意見を受け入れながら遊ぶ</li> </ul> </li> <li>○どんぐり、まつぼっくり、木の枝などを拾いにいく。(ぼうけんの森、大学構内)</li> <li>○カレンダー製作をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬休みやお正月が来ることを知る。</li> </ul> </li> </ul>	
環境と配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝と日中との気温差が激しいので、上着の着脱を促したり、自分でできるように声をかける。</li> <li>・体調を崩しやすいことから、手洗い、うがいを促し、鼻の噛み方やティッシュの場所の確認をする。</li> <li>・作品展が近づくと担任は保育室にこもりがちになるので、各学年の活動や各クラスの動きを毎日フリーの先生とよく話をし、外で遊ぶ子ども達に危険などがないよう配慮をする。</li> <li>・いろいろな素材を準備して毎回出す度に、使い方などを紹介する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の変化にあわせて、衣類の着脱を促す。</li> <li>・手袋、マフラーは保育中は着用しない。</li> <li>・寒い時は、室内やテラスを走ることが多くなるので、声をかける。</li> <li>・大型つみきで遊ぶ時には、必ず上靴を履く。</li> </ul>	